〈2026年度〉

南山大学・豊田工業大学 連携講演会（第21回）

参加費無料

“無駄”を科学する

12月5日（土）

10:00～12:15（9:30開場）

豊田工業大学
豊田喜一郎記念ホール

スケジュール
10:00～10:15　開催挨拶、連携紹介
10:15～11:05　講演01
11:05～11:15　休憩
11:15～12:05　講演02
12:05～12:15　閉会挨拶、アンケート記入

講演01

捨てられる熱を電気に変える「熱電変換技術」の可能性



豊田工業大学／相関電子材料研究室
（まつなみ　まさはる）
松波 雅治 教授
専門：強相関電子系／熱電材料

私たちの社会は、化石燃料の枯渇や地球温暖化といったエネルギーや環境に関する問題に直面しています。これらの深刻な課題を解決する切り札の一つとして、「無駄」なものとして捨てられている“廃熱”を利用し、電気エネルギーへと変換する「熱電材料」への期待が高まっています。本講演では、はじめに「熱電発電」の基本的な仕組みやメリットをわかりやすく解説します。あわせて、実際の熱電材料を用いた簡単な実演を行い、お湯や氷によって生じる温度差から電気が生み出される様子をお見せします。また、熱電材料に関する現状の課題や今後の発展性についてもご紹介します。

講演02

"無駄"をめぐる冒険 ～"無駄"について考えるときに私たちが考えること～



南山大学／総合政策学部
（おおた　かずひこ）
太田 和彦 准教授
専門：食農倫理学／環境倫理学

私たちは日々「無駄」なものと出会います。廃棄される食べ物、必要のない作業、使われていない場所など。私たちはこれらを減らすべき対象としてごく自然に理解します。一方で、「失敗したけれど無駄ではなかった」「その無駄が良いんじゃないか」という言葉もまた、私たちは難なく理解できます。私たちは「無駄」という概念を使って意外なほど異なることを考え、判断しているのかもしれません。本講演では、「無駄」を減らすのでも再評価するのでもなく、私たちが「無駄」について考えているときに考えていることの多様さを、いくつかの例とともに眺めてみたいと思います。

参加登録について

豊田工業大学または南山大学の公式Webサイトにて
特設ページを公開しています。
特設ページまたは右記の「**受付フォーム**」より、
申込期間内に参加登録をお願いいたします。

受付フォーム

●申込期間　11月6日（金）～11月25日（水）

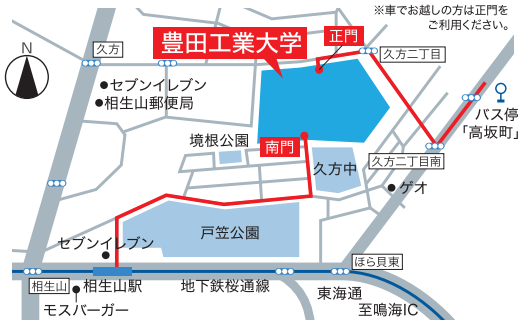
定員 250名（先着順）

参加登録に関するお願い
- 「受付フォーム」による参加登録が必要です。
- 先着順で定員（250名）になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込みください。

お問い合わせ先
豊田工業大学　次世代文明センター　TEL 052-809-1764
南山大学　学長室　広報・募金課　TEL 052-832-3113

収集した個人情報は、受講者管理および今後の講座案内送付のみに利用し、その目的の範囲を超えて使用いたしません。

アクセス



【公共交通機関でお越しの場合】

名古屋・金山駅方面から：地下鉄桜通線「相生山駅」下車 1番出口から徒歩10分

豊田・赤池方面から：地下鉄鶴舞線「原駅」下車、2番出口から市バス幹線原1系統（相生山住宅・島田一ツ山行き）「高坂町」下車、徒歩10分

〒468-8511 名古屋市天白区久方2-12-1 豊田工業大学

南山大学　学校法人 トヨタ学園 豊田工業大学